

2020年4月 キューバ情勢

【概況】

1 外交

- (1) 米軍のカリブ海増派に対する非難
- (2) 新型コロナウイルス感染対策に係る中国からの支援物資の到着
- (3) ロドリゲス外務大臣とラブロフ・ロシア外務大臣の電話会談
- (4) 新型コロナウイルス感染対策に係るベトナムによる支援
- (5) 米国によるキューバ及びベネズエラに対する封鎖解除の要請
- (6) トーレス・リベラ駐ベトナム大使とフック・ベトナム首相との会談
- (7) 新型コロナウイルス感染対策に係る南アフリカからの支援物資の到着
- (8) ロドリゲス外務大臣とザリーフ・イラン外務大臣との電話会談
- (9) 駐米キューバ大使館への発砲事件
- (10) 新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

2 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染者数等（※4月30日23：59時点，保健省発表）
- (2) キューバ政府による出入国及び行動制限に関する措置等
- (3) その他の措置

【本文】

1 外交

- (1) 米軍のカリブ海増派に対する非難

2日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、米国のカリブ海増派に関し、自身のツイッターにて「ベネズエラ近海における軍艦の展開及び特殊部隊の行動を含む米国による軍事作戦は、地域のすべての国にとって深刻な脅威である。麻薬対策であるとの主張は単なる機会主義的な口実でしかない」旨発信した。

- (2) 新型コロナウイルス感染対策に係る中国からの支援物資の到着

6日、新型コロナウイルス感染対策として中国から20万ドルの小切手，マスク20万枚，医療用マスク1万枚，使い捨て防護服2000着，非接触型体温計500個，防護メガネ2000本，医療用手袋2000対，隔離用ブーツ2000足がキューバに到着した。また，Yutong 社から寄付として防護服1万着及びマスク1万枚が到着した。ロドリゲス外務大臣は，自身のツイッターにて，中国に対する謝意を表明した。また，24日，支援物資輸送のための初めのチャーター便にて，中国から，マスク，防護服，検査キット等の支援物資が到着した。40以上の中央省庁や政府系団体等が支援に協力した。

(3) ロドリゲス外務大臣とラブロフ・ロシア外務大臣の電話会談

13日、ロドリゲス外務大臣はラブロフ外務大臣と電話会談を行った。両者は、新型コロナウイルス感染拡大の中で、すべての違法で一方的な制裁は解除する必要があることで一致した。両者は、その他の多国間問題について国連の場において二国間で強調していくことを改めて確認した。また、両者は、キューバ・ロシア外交関係樹立60周年記念事業の準備について検討を行った。

(4) 新型コロナウイルス感染対策に係るベトナムによる支援

17日、ベトナムはキューバに対し、新型コロナウイルス感染拡大による食料不足に対応するため、5千トンの米を供与した。また、ベトナム人元留学生は、約6万8千米ドルに相当する寄付を行った。

(5) 米国によるキューバ及びベネズエラに対する封鎖解除の要請

20日、アナ・テレシータ・ゴンサレス外国貿易・外国投資省第一次官は、自身のツイッターにて、「米国は、キューバとベネズエラに対する封鎖の解除を求める声が世界中で拡大していることに耳を傾けるべきである。新型コロナウイルス感染が拡大している時期に必要なのは連帯であり、更なる攻撃ではない。」旨発信した。同日、ミゲル・ディアスカネル大統領は、新型コロナウイルス対策は、米国による経済、貿易、金融封鎖がなければ更なる効果を収めている旨強調した。

(6) トーレス・リベラ駐ベトナム大使とフック・ベトナム首相との会談

21日、リアニス・トーレス・リベラ駐ベトナム大使はグエン・スアン・フック・ベトナム首相と会談した。フック首相は、伝統的な連帯、全面的な協力、経済・貿易関係を今後も強化していく意思を確認した。トーレス・リベラ大使は、新型コロナウイルスに対抗する医薬品の研究及び製作、及び製薬業一般における二国間協力の可能性について強調した。また、同大使は、ベトナムによる5千トンの米の供与に謝意を表明し、米国による経済、貿易、金融封鎖が継続し、限られた物資の中で新型コロナウイルスに対抗している中でのベトナムによる支援の重要性を強調した。

(7) 新型コロナウイルス感染対策に係る南アフリカからの支援物資の到着

24日、二国間の緊密な協力と連帯の一部として、南アフリカから新型コロナウイルス感染対策のための支援物資が到着した。

(8) ロドリゲス外務大臣とザリーフ・イラン外務大臣との電話会談

30日、ロドリゲス外務大臣は、モハンマド・ジャヴァード・ザリーフ・イラン外務大臣

と電話会談を行った。会談では、新型コロナウイルスと戦うために国際社会が協力することの必要性及び政治的意図に基づいた一方的制裁を停止することの重要性について意見交換を行った。

（９）駐米キューバ大使館への発砲事件

３０日未明、駐米キューバ大使館に対する発砲事件が発生した。大使館の建物は損傷しているが負傷者は出ておらず、容疑者は警察により拘束された。動機等については不明。

同日午後、ロドリゲス外務大臣は、キューバ大使館に対するテロ行為が発生したとして、「キューバ政府は、容疑者の人定事項及び動機に関し、米国当局による捜査待ちであり、捜査が完全かつ迅速に行われ、その結果がキューバ当局に共有されることを期待する。本日テカッチ駐キューバ臨時代理大使に対し、同テロ行為を断固として非難し、このような出来事を米国政府のキューバに対する攻撃的かつ敵対的政策と切り離すことは不可能であること、事件の発生から１２時間以上経過しているにもかかわらず、普段頻繁にキューバに言及し発信をしている米国政府から公式見解の発表がないことに驚いている旨伝達し、国務省に対し、ウィーン条約に基づく義務を履行するため、至急必要な措置をとることを要請した」こと等を含む声明を発出した。

ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて、当該攻撃を非難する、すべての国家は同国に駐在する外交団を保護する義務を負っている旨発信した。

（１０）新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

４月末時点でのキューバ人医療団の各国への派遣状況以下のとおり（５月１日付キューバ外務省発表）。

- ・アンティグア・バーブーダ：２６名
- ・グレナダ：５名
- ・セントルシア：１１３名
- ・セントクリストファー・ネービス：３４名
- ・セントビンセント及びグレナディーン諸島：１６名
- ・バルバドス：１０１名
- ・ドミニカ：３５名
- ・トリニダード・トバゴ：１１名
- ・ハイチ：２２名
- ・ジャマイカ：１３８名
- ・ベリーズ：５８名
- ・スリナム：５１名
- ・メキシコ（技術者派遣）
- ・ホンジュラス：２０名

- ・ ニカラグア：５名
- ・ ベネズエラ：６名
- ・ トーゴ：１１名
- ・ 南アフリカ：２１７名
- ・ アンゴラ：２１９名
- ・ カーボベルデ：２０名
- ・ アンドラ：３９名
- ・ イタリア：９０名
- ・ カタール：２２９名

２ 新型コロナウイルス

（１）新型コロナウイルス感染者数等（※４月３０日２３：５９時点，保健省発表）

- ア 感染者数累計：１５３７名
- イ 死亡者数：６４名
- ウ 退院数：７１４名
- エ 国外搬送者数：２名（米国，カナダ）
- オ 入院中：７５７名（うち危篤６名，重篤４名）

（２）キューバ政府による出入国及び行動制限に関する措置等

ア ７日，ディアスカネル大統領は，キューバの感染状況に関し，「感染拡大の前段階」から「限定的な国内感染（外国から入国した人とは接触していないが感染が確認されている）」に移行した旨発表。国内感染が確認されたすべての地域で隔離措置をとることを発表。

イ ７日の発表に基づき，各県の自治体にて隔離措置を実施。

（３）その他の措置

９日，新型コロナウイルス感染症対策として，１０日以降のハバナの大型店舗営業停止及び１１日以降の公共交通機関停止が発表された。